

## 博士課程後期研究概要

### 研究指導科目及び履修方法

※担当者氏名前の○印は、令和6年度の学生募集を行う担当者を表します。

専修部門	研究指導科目（専修科目）	担当者	主研究内容等
システム論専修	比較金融システム論特別研究Ⅰa 比較金融システム論特別研究Ⅰb 比較金融システム論特別研究Ⅱa 比較金融システム論特別研究Ⅱb 比較金融システム論特別研究Ⅲa 比較金融システム論特別研究Ⅲb	教授 博士(経済学) ○掛下達郎	詳細な研究内容は受講生と相談して進めていきますが、本研究の大きな目的は「金融機関のビジネスモデル（儲けの仕組み）は各国でなぜ異なっているのか」です。ビジネスモデルにおいて、儲け、収益、収益構造は重要な概念であり、その共通点と相違点の把握は欠くことのできない事項です。この課題に対して、ミクロデータによる収益構造分析を用いて金融機関の業務展開を把握し各国の金融ビジネスモデルを明らかにします。
アジア経済論	アジア経済論特別研究Ⅰa アジア経済論特別研究Ⅰb アジア経済論特別研究Ⅱa アジア経済論特別研究Ⅱb アジア経済論特別研究Ⅲa アジア経済論特別研究Ⅲb	教授 博士(国際開発学) ○アケシキョウ アリ	東アジア地域は世界経済において重要な役割を果たしている。急速な経済成長と技術の発展に伴い、東アジアは事例のない経済発展を実現できた。その背景には産業政策と工業化戦略を初め、長期経済発展戦略と独特な制度があると考えられている。「アジア経済論特別研究」では、マクロ経済学と開発経済学の上級理論を用い、産業政策、科学技術政策、生産性向上、資源配分および発展の政治経済学、グローバルバリューチェーン、経済統合など東アジアにおける経済発展に関する様々な課題について分析する。とりわけ、量的分析方法と実証分析に重点を置く。開発経済学の概念と分析方法を東アジア経済へ応用することができるようになることが講義の目標である。
国際経済論専修	国際経済論特別研究Ⅰa 国際経済論特別研究Ⅰb 国際経済論特別研究Ⅱa 国際経済論特別研究Ⅱb 国際経済論特別研究Ⅲa 国際経済論特別研究Ⅲb	教授 博士(経済学) ○豊嘉哲	国際経済論に属し、ヨーロッパ経済と関連付けられるテーマを受講生は選択し、それに関する先行研究の渉猟と論点の整理を行う。その後、教員の助言に基づいて博士論文を執筆する。
国際金融論専修	国際金融論特別研究Ⅰa 国際金融論特別研究Ⅰb 国際金融論特別研究Ⅱa 国際金融論特別研究Ⅱb 国際金融論特別研究Ⅲa 国際金融論特別研究Ⅲb	教授 博士(経済学) ○伊豆久	参加者各自が、論文執筆に向けた研究報告を順番に行い、全員で討論する。国際金融論に関する博士論文作成を目標に、先行研究のサーベイ、研究テーマの設定、論点の整理、原稿の執筆等について助言・指導を行う。
経営戦略論専修	経営戦略論特別研究Ⅰa 経営戦略論特別研究Ⅰb 経営戦略論特別研究Ⅱa 経営戦略論特別研究Ⅱb 経営戦略論特別研究Ⅲa 経営戦略論特別研究Ⅲb	教授 ○合力知工	本講義では、①外部適応アプローチとしての経営戦略に加え、②その行動に大きな影響を及ぼす組織内部の構造についても併せて考察し、③企業の持続的成長を可能にするような新しい経営戦略—各種ステイクホルダー満足の充足を図る、CSR論を基盤とした経営戦略—を、企業の事例を掲げながら、理論的・実践的に検証する。受講者に問題提起をしてもらい、意見交換をしながら結論を導き出す、という形式で進める。
会計学専修	会計学特別研究Ⅰa 会計学特別研究Ⅰb 会計学特別研究Ⅱa 会計学特別研究Ⅱb 会計学特別研究Ⅲa 会計学特別研究Ⅲb	教授 ○長東航	会計学に関する学問領域の中から、受講生が選択した研究テーマに関して、博士学位の取得を目的とした研究指導を行う。
原価計算論専修	原価計算論特別研究Ⅰa 原価計算論特別研究Ⅰb 原価計算論特別研究Ⅱa 原価計算論特別研究Ⅱb 原価計算論特別研究Ⅲa 原価計算論特別研究Ⅲb	教授 博士(経営学) ○田坂公	本講義および演習では、伝統的原価計算ひいては管理会計に関する基礎から応用までの内容かつ体系的な専門知識を習得することは勿論、企業と地域社会に貢献でき、それらをリードしていく人材に役立つ能力を身につけることを目標とする。 原価計算・管理会計に関する課題を認識し、各自の論点に合わせて博士論文の作成と完成を目指し、研究指導を行う。博士の学位にふさわしい内容・水準の論文完成を到達目標とする。
管理会計論専修	管理会計論特別研究Ⅰa 管理会計論特別研究Ⅰb 管理会計論特別研究Ⅱa 管理会計論特別研究Ⅱb 管理会計論特別研究Ⅲa 管理会計論特別研究Ⅲb	教授 ○篠原巨司馬	管理会計に関連する研究領域（特に戦略計画、戦略実践、マネジメント・コントロール）について、その全体像を把握するためのコースワークを実施する。またその中で、受講生が取り組む研究テーマの選択に対するアドバイス、学会報告、論文発表の指導を行う。学会報告、論文発表を積み重ね、最終的には博士論文にまとめ上げるための指導を行う。
国際会計論専修	国際会計論特別研究Ⅰa 国際会計論特別研究Ⅰb 国際会計論特別研究Ⅱa 国際会計論特別研究Ⅱb 国際会計論特別研究Ⅲa 国際会計論特別研究Ⅲb	教授 博士(経営学) ○池田健一	国際会計論および財務会計論の分野から受講生が選定した研究テーマについて、まず、先行研究に関する様々な文献を読んで研究を深めてもらいます。その後、各自が決めたテーマに基づいて更に研究を進め、学会報告のための論文作成や、博士論文の作成に取り組んでいただきます。

